

目的

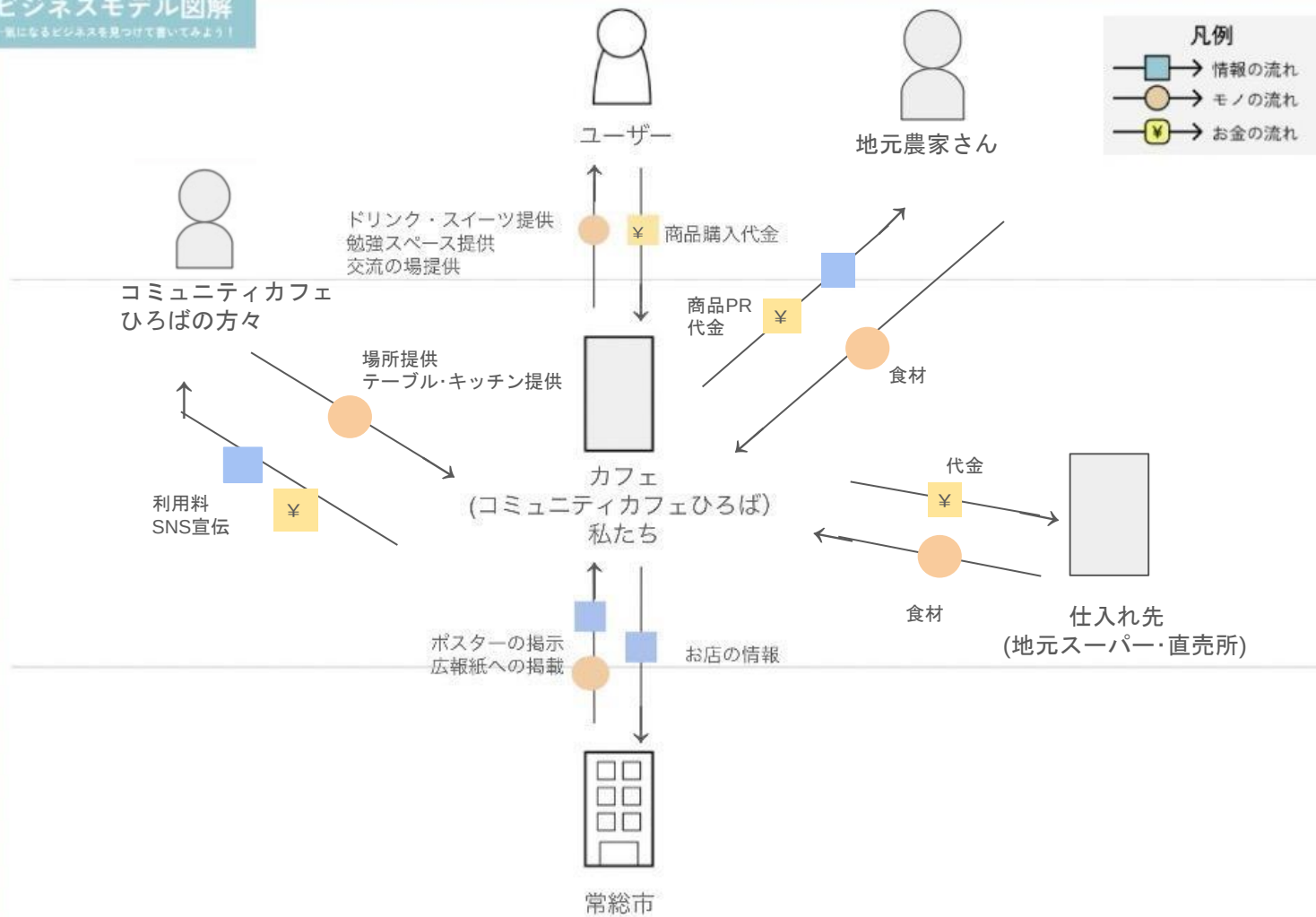
学生が放課後や電車待ちに利用できる居場所を作る。
フードロスを削減する。

このテーマを考えた理由

- * 放課後や電車待ちに高校生が気軽に過ごせる場所が少ないから
- * 高校生と地域の人交流できる場をつくりたいから
- * 規格外農産物を活用してフードロスを減らしたいから
 - * 地域活性化につなげたいから

ビジネスモデル図解

一気になるビジネスを見つけて書いてみよう！



スーパーでの仕入れ

○メリット○

- 安心して商品を確保できる。
- 天候に左右されにくい。
- 仕入れの予定が立てやすい。
- すぐ買える。

○デメリット○

- 仕入れ費用がかかる。
- フードロス削減への貢献が少ない。
利益が少なくなる。

※スーパーなどにも地元農家さんが作った農産物が置いてある場所があるため安定して仕入れたい場合は○だがフードロスへの貢献は×

農家さんのワケあり品

○メリット○

- 仕入れ費用を抑えられる。
- 廃棄予定の農産物を活用できる。
- フードロス削減に直接貢献できる。
- 地域とのつながりができる。

○デメリット○

- 量が安定しない。
- 収穫時期や天候に影響を受ける。
- 運搬の手間がある。

※いちごフェス🍓や
さつまいもフェス🍠などを行う場合は農家さんから
余った商品やわけあり商品などを買取る。

○利益○ ○イベント○

項目	週3回開催	週4回開催
月開催回数	12回	16回
1回あたり来店者数	10人	10人
月利用者数	120人	160人
月活用する規格外いちご	15kg	20kg
月活用する規格外さつまいも	15kg	20kg
月活用量合計	30kg	40kg
月売上	60,000円	80,000円
規格外品仕入れ費	18,000円	24,000円
その他材料費	12,000円	16,000円
月コスト合計	30,000円	40,000円
月利益	30,000円	40,000円

○イベント○

- * 読書・読み聞かせ会
- * 季節限定スイーツフェア
- * 地域交流イベント

本などは地域の人がもう読まないものを寄付してもらったりする。
都内の勉強カフェや図書館イベントを参考

ドリンク：約200円
スイーツ：約300～500円程度で販売

- コミュニティカフェひろばの設備を活用。
- SNS中心で宣伝費を抑える。

※来店者数は10～15人程度を
目安に収益を計算